

101回のクロマトグラムで古酒の時間的变化を分析

作業日時：2005年7月16日
 使用テスター：zNose 4200 (使用カラム DB-5)
 測定サンプル：5年熟成日本酒古酒
 測定方法：写真の方法で吸引・測定
 測定条件：測定温度 40 / 40-140, 5 / 160 / 200 / 250°C
 サンプル量：2.5cc
 測定時間 20 sec.
 測定サイクル 150 sec.
 連続測定回数 101回 (約4時間)



結果考察

Fig.1-a.は、101回の連続測定回数に対する9主要ピークのピーク値比率を縦軸100%で表示しました。Fig.1-b.と次ページのグラフは、それぞれのピークの時系列の変化を表示。次ページのクロマトグラムは101回目の測定データ、そのクロマトグラムの各ピークに対応するグラフを下に表示しました。

4時間の連続測定で、主要ピークのうち、ピーク3,6,8が時間の経過と共に増加傾向を示し、ピーク2,4,5,7,9で減少傾向がみられた。

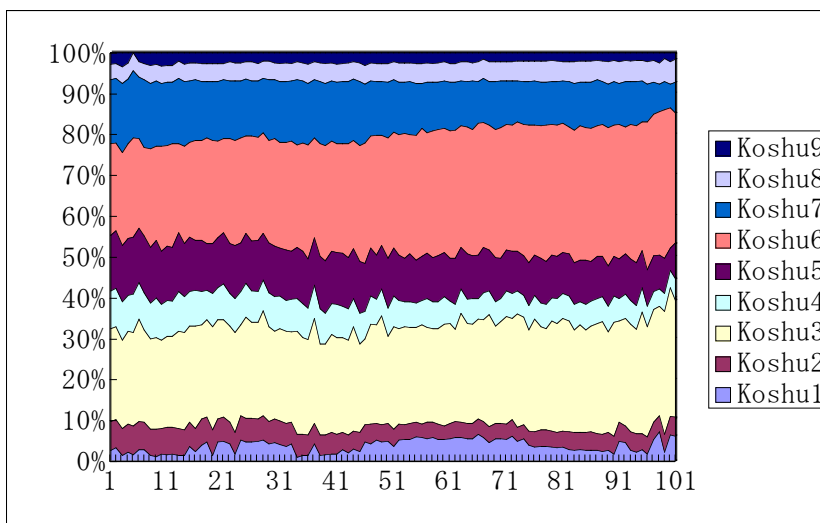


Fig.1-a

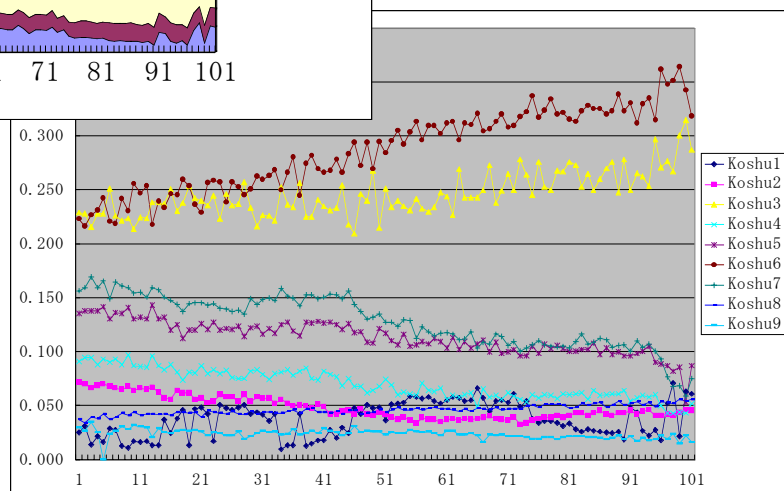
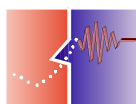


Fig.1-b



101回のクロマトグラムで古酒の時間的変化を分析 Page2

101回目のクロマトグラムとピーク値変化グラフ

(下の小さなグラフは4時間のピーク値測定での変化をしめす。青色の↑のピークは増加の傾向を、赤色の↑のピークは減少の傾向を示している。)

